

## 令和3年度 事業報告

新型コロナウイルス感染症によるパンデミック発生から2年の年月が経過しました。令和3年は年初からの9ヵ月間のうち実に8ヵ月弱が新型コロナの感染拡大を受けた緊急事態宣言下となり、東京オリンピックは無観客で行われ景気押し上げ効果も限定的で、令和3年度の日本経済は落ち込みと持ち直しを繰り返し、やや停滞の年となりました。

三重県においても2021年5月9日以降まん延防止等重点措置が、8月27日～9月30日の間は緊急事態宣言の対象となるなど、コロナ警戒の措置が長期にわたることとなり、経済・社会に多大な影響をもたらしており、ワクチン接種が進んだ今でもなお、社会経済活動の正常化へは道半ばの状況にあります。

トラック運送事業においては、コロナ禍の影響をそれほど受けていない輸送分野と、むしろ荷扱いが増加となった輸送がある一方で、厳しい状況に置かれたまま回復できない産業に係る輸送も多く存在し、景況感は輸送の扱い品目により良否が分かれる状況が続きました。

具体的には、コロナ禍での行動制限と生活様式の変化により、一般消費関連については、スーパーやドラッグストアなど小売り業種や、ネット通販・宅配便関係の輸送の景況は良く、飲食店関連の輸送は停滞したままの状況が続きました。

製造業における輸送については、世界的なコロナ感染にともなう供給制約と、その一方で経済回復と資源価格の高騰の影響を受け、半導体の不足や海上コンテナの不足をまねきグローバルなサプライチェーンが影響を受けました。このため、製造業関連では自動車関連の輸送などで生産調整や工場生産停止の影響が大きく、輸送需要に格差が見られる年となりました。

なお、日本の人口は2008(平成20)年をピークに減少に転じており、今後その減少の幅は大きくなっていくことから、高齢化と人口減少が続くため「人手不足」が避けられない状況です。

トラック運送事業で働くドライバーの不足も顕著で、より採用難易度が高まってきました。人材確保が難しい業界として、建設業、情報通信業、医療・福祉業で人手不足感が強い傾向ですが、運輸業もそれに続いています。

トラックドライバーの年齢は40～50代以上が主で、それより若い人の入職が極めて少ないことが課題となっています。

人手不足の原因としては、「提示した条件で求める人材が集まらない」と「求める人材が労働市場に少ない」の両面がありますが、労働時間が長く賃金が安いとされる労働条件を改善するために、「時間外労働の割増賃金(月60時間超の時間外労働は50%割増/2023年から)と、上限規制(時間外労働 年間上限960時間/2024年から)」が施行されることと、その対応にむけた「標準的な運賃」が国から示されていることから、その周知と対応をすすめて参りました。

また、大型、中型、準中型といったトラックを運転するための免許の取得については引き続き、上位運転免許の取得助成制度を活用いただき対応を行いました。

さらに、若年層はじめ広く運送事業を知って頂くためにテレビ/ラジオで運送事業のPRに務めるとともに、女性や高齢者の活用も進めながらの、多様な働き方への対応をお示ししています。

軽油等の燃料の価格については、資源価格の高騰が続いており、ロシア／ウクライナ情勢の悪化で拍車がかかっています。燃料価格の下落や安定は、当面見通せない状況です。

このため、燃料の高騰に関しては、適正な運賃収受と燃料サーチャージ適用に向け、運送事業者と荷主間での意思疎通を図り協議を重ね、理解を深めていただくことが重要です。

全日本トラック協会では燃料価格高騰経営危機突破総決起大会にて国の施策を求めるとともに、三重県トラック協会からは標準的な運賃と燃料サーチャージに関する荷主向けのダイレクトメールの送付を行ったほか、新聞広告の掲載、関係先諸団体への周知等で状況の理解促進と協力要請を行って参りました。

令和3年度も新型コロナウイルス感染拡大防止のために事業活動が制限される状況でしたが、上記のほか下記の諸課題に対する取り組みを、全日本トラック協会と連携し推進して参りました。

### 1. 交通安全対策事業

全日本トラック協会では「トラック事業における総合安全プラン2025」を策定し、事業用トラックを第一当事者とする死者数と重傷者数の合計を車両台数1万台当たり「6.5人以下」とする目標と「飲酒運転ゼロ」を策定しています。この目標に向け、三重県トラック協会では、四期の交通安全運動に合わせ集中的に広報・啓発を行ったほか、健康管理のセミナーと健康起因事故防止セミナーを実施するとともに、「安全宣言200days」で無事故無違反ラリーの参加を募り、達成チームの表彰を行いました。また、新人ドライバー対象の「初任運転者研修」は、Eラーニングでの教育を加え実施致しました。

また、「特殊車両通行許可や確認制度、オンライン申請」の研修セミナーを実施致しました。

### 2. 環境対策事業

10月9日「トラックの日」は県下9支部において道路の清掃活動を実施しています。

また、会員事業所に交通安全と環境保全ののぼり旗を配布した他、「環境にやさしいトラック輸送」宣言事業所の募集をするなどの取り組みを行いました。

### 3. 近代化対策・事業経営対策事業

「標準的な運賃活用／運送原価セミナー」を開催し、適正な運送原価の把握と標準的な運賃を活用しての荷主交渉について2日間コースでの研修を行いました。

また、「物流セミナー」では、ホワイト物流推進運動への賛同と、発着荷主・運送事業者連携してのサプライチェーン全体での協力の重要性について講演がおこなわれました。

### 4. 労働対策事業

「経営成長支援オンラインセミナー」5回のWeb受講と「働き方改革24カ月対応と支援プロジェクト」セミナーで、経営改革／労働対策についての進め方とスケジュールを学びました。

「働きやすい職場認証制度」の周知とともに、認証条件に対応できる職場づくりの支援セミナー等を実施しました。

その他、安全性優良事業所Gマークの推進と引越事業者優良認定のための管理者講習を実施したほか、トラック業界からの税制・予算要望を地元選出国會議員におこない、自動車関係諸税の簡素化・軽減の実現、特例優遇措置の延長・拡大、高速道路料金の大口・多頻度割引最大50%の継続等を要望しました。また、北勢バイパス・東海環状自動車道を始めとした道路ネットワークの整備、PA・SAでの駐車場拡充、市街地の荷捌き駐車場の整備など、諸課題への対策実現に向けた関係行政機関への要望活動も展開致しました。

# 1. 会員の入退会状況

支部	期首会員数	入会	退会	支部間移動		期末会員数
				転出	転入	
桑員	104	1	1	0	0	104
北勢	290	7	0	0	1	298
鈴鹿	164	5	2	1	0	166
津	121	2	1	0	0	122
松阪	127	0	1	0	0	126
南勢	70	2	1	0	0	71
伊賀	92	3	2	0	0	93
紀北	23	0	0	0	0	23
南紀	8	0	0	0	0	8
旧営業区域のみ	5	0	0	0	0	5
利用運送事業	17	0	0	0	0	17
合計	1,021	20	8	1	1	1,033

## ① 入会員名 (日付順)

名称	代表者	所在地	区分
(株)銀正 三重営業所		一宮市木曾川町外割田字伊勢田195-1	鈴鹿
ヴィヴァン(株)	中西 佐紀	三重郡菰野町大字永井3067-108	北勢
山勢商会運輸(有) 三重営業所	村越 亮平	名張市桔梗が丘5番町1街区12番地 大薮ビル101号	伊賀
(有)アサノ流通	片岡 英二	津市高茶屋小森町277-10	津
今西物流(株) 三重伊賀営業所		伊賀市佐那具町994-17ファミリービッドB棟101	伊賀
リープ工業(株)	石川 稔	三重郡菰野町宿野880-1	北勢
Ka'z Line(株)	片岡 麻衣	津市安濃町安濃2506-1	津
(株)four leaf. c	佐野 淳	亀山市菅内町1683-22	鈴鹿
(株)未来サービス	コスダ アミルトン	亀山市亀田町469-5	鈴鹿
昭栄運輸(株)	加田 昭宏	四日市市楠町南五味塚246-2	北勢
孝総興業(株)		伊賀市山出1559-3	伊賀
(株)千寿運送	白井 誠一	亀山市関町木崎143-3 Tujuhムーアイ B号室	鈴鹿

名 称	代表者	所 在 地	区分
諸岡建設(株)	諸岡 剛	三重郡菟野町田光241-3	北勢
(有)アラカワ	荒川 剛	四日市市楠町北五味塚114番地の1	北勢
元町運送(株)	中川 正	伊勢市小俣町元町1810	南勢
(株)アブファールト	中村 恵美	亀山市菅内町1219-3	鈴鹿
(株)秀英ロジスティックス	池田 英一	四日市市河原田町1007番地28	北勢
(株)テプラス		三重郡川越町亀須新田172-3	桑員
扇島商店(株)	島田 隆正	伊勢市小俣町明野405番地19	南勢
(株)ケーズカーゴ	小寺 浩	三重郡菟野町大字千草653番地3	北勢

② 退会員名 (日付順)

名 称	代表者	所 在 地	区分
(有)河本商会	河本 則行	伊勢市小俣町本町194	南勢
(有)三重キンキベビーセンター 中勢営業所		津市安濃町安濃2360-10	津
A C Tライナー(株) 亀山出張所	白井 誠一	亀山市和田町1370-2	鈴鹿
(有)協立運送 三重営業所	田中 照幸	伊賀市問屋町14-5 フランソワ ユ101号	伊賀
(株)F L T三重	待鳥 匠	伊賀市治田5388-1	伊賀
(株)明菱物流 鈴鹿営業所	柴田 文英	鈴鹿市下大久保町2061-5	鈴鹿
(有)前田商会	前田 龍一	桑名郡木曾岬町大字栄48	桑員
(有)Nテック	中倉 正二	度会郡大紀町野添782番地3	松阪



年月日	議事事項
令和4年 1月20日	①トラック会館移転計画について ②令和3年度主な助成事業進捗状況について ③令和4年度事業方針について ④委員会の新設・廃止について ⑤今後の行事日程の調整について ⑥第45回第5次近代化融資の推薦について ⑦その他
令和4年 3月9日	①令和3年度交付金及び一般会計予算執行状況の承認について ②令和4年度事業計画(案)・収支予算(案)の承認について ③第46回近代化融資第1次推薦について ④会費未納会員(資格喪失)の取扱について ⑤今後の行事予定について ⑥その他

### ・業務運営委員会

令和3年 7月19日	①今年度の事業運営 I.事業計画／実施内容について II.標準的な運賃の取扱と届出促進 III.助成金の取扱変更について IV.人材確保のための取組み ②その他／意見交換
令和3年12月22日	①2021年度の事業運営状況 ②標準的な運賃の届出状況について ③年度後半から次年度にかけての取組み ④最近の情勢や意見交換 ⑤その他
令和4年 2月 15日 ～2月 21日 (書面開催)	①今年度の事業運営 ②次年度の事業計画策定 助成金 次年度以降の取扱い変更点確認 人材確保取組み I.厚労省 就職氷河期世代資格取得 II.インターンシップ III.職場見学／就職相談会 (A:夏休み 見学会 B:秋 転職フェア) 重点点取組み 三重県の強化取組み等

### ・適正化運営委員会

令和3年 7月27日	①令和3年度適正化事業の推進状況報告 ②令和3年度巡回訪問の結果報告 ③令和3年度物流セミナーについて ④定年退職者の嘱託適正化指導員採用について
令和4年 2月21日 ～25日 (書面開催)	①令和3年度適正化事業の報告 ②令和3年度巡回訪問の結果報告 ③令和4年度適正化事業計画(案)・事業予算(案))

・適正化事業実施機関評議委員会

年月日	議事事項
令和4年 3月17日	①令和3年度適正化事業の推進状況について ・適正化事業の報告 ・巡回訪問の結果報告 ②令和4年度適正化事業計画

・広報委員会



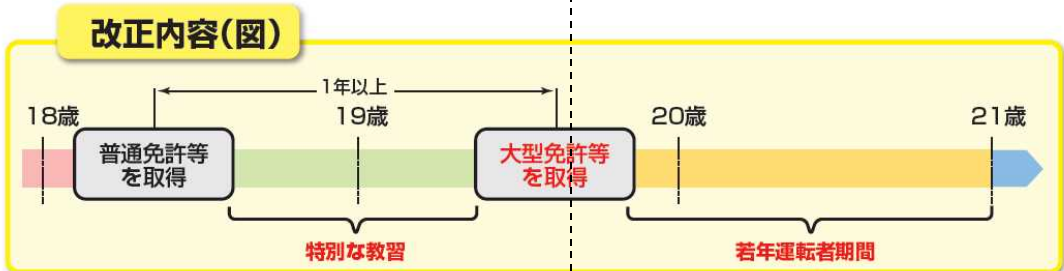
令和3年 7月 19日	①令和3年度 広報の現状 ②広報計画 新規計画や提案事項 等 ③その他
令和4年 2月22日 ～25日 (書面開催)	①令和3年度 広報実施状況 ②広報委員会の修了 ③今後の広報に関する提案/ご意見 等

・トラック輸送における取引環境・労働時間改善三重県地方協議会

令和4年 1月21日 ～ 28日 (書面開催)	①最近のトラック運送事業に関する取組みについて ②本協議会における本年度の取組みについて
-------------------------------	---

3. 重要事項／重点取組み

項目	内容	補足事項
行政処分の 日車数の 一部改正	健康起因事故が増加していることから、令和3年6月1日より健康起因事故を起こしたものが健康診断を未受診だった場合の行政処分が追加されました。	事故発生1年以内に健康診断を未受診であったり、健康診断結果に再検査や要治療の所見があるにもかかわらず再検査を受診させず乗務し事故を起こした場合初違反40日車、再違反80日車
道路法の 一部改正	特殊車両通行確認制度が令和4年4月1日より始まりました。道路法の一部改正により、情報が電子データ化された道路であればオンラインシステムにより自動的に経路を検索し、即時に複数の通行経路が示されます。  あらかじめETC2.0を搭載した特殊車両の登録が必要です。	2地点双方向2経路検索 
安全性 優良 事業所	全日本トラック協会は令和3年12月17日安全性優良事業所の認定を行いました。  法令順守や交通安全対策などへの取組を評価し、基準をクリアした事業所を認定する制度です。	事業所(営業所)ごとに認定し全国で28,026事業所が認定を受けています。 全事業所の32.1%になります。 

項目	内容	補足事項
引越事業者優良認定	<p>全日本トラック協会は令和3年12月23日、引越事業者の優良認定を行いました。</p> <p>安全安心な引越事業者の見える化・引越業界全体のコンプライアンス向上・引越の苦情やトラブル防止のため、Gマークの取得と引越管理者講習修了者の在籍が認定要件です。</p>	<p>苦情対応の体制や責任の所在、適切な従業員教育をしているか等を審査し、令和3年度は新たに67事業者が認定されました。</p> <p>認定事業者数は合計354事業者です。</p> 
働きやすい職場認証制度	<p>運転者職場環境良好度認証制度(働きやすい職場認証制度)の申請受付が7月21日から10月15日まで行われました。</p> <p>評価項目は「法令遵守」「労働時間・休日」「心身の健康」「安心・安定」「多様な人材確保・育成」の5分野です。</p> <p>2年間ごとに更新が必要となります。</p> <p>累計のトラック認定事業者数は2324事業者です</p>	<p>運転者の労働条件や労働環境を第三者機関が評価し「見える化」することにより、事業者の労働環境の改善取組と求職者へのイメージ刷新を図ります。</p> 
働き方改革関連	<p>同一労働同一賃金</p> <p>パートタイム労働法・労働契約法</p>	<p>すべての企業に適用されます。</p>
道路交通法一部改正	<p>大型免許の受験資格が「21歳以上で普通免許保有歴3年以上」、中型免許が「20歳以上で普通免許の保有歴2年以上」と規定されていますが、いずれも運転技能などを学ぶ特例教習(36時間＝座学7時限以上、技能29時限以上)を受けることを条件に「19歳以上で普通免許の保有歴1年以上」に緩和されました。</p> <p>2022年5月13日施行</p> <p><b>改正内容(図)</b></p> 	<p>ただし21歳(中型免許は20歳)までに違反が一定基準を超えた場合は講習の受講義務があります。</p> <p>違反基準は累積点数が3点以上(1回の違反で3点以上の場合を除く)</p> <p>未受講、再該当の場合は特例取消</p>
高速道路料金	<p>物流コスト低減と燃料費対策として、高速道路料金の割引拡充や期限延長など、トラックの業界要望として提出しています。</p>	<p>令和3年度の補正予算としてETC2.0装着車は高速道路の大口・多頻度割引最大割引率50%を1年延長することとなりました。貨物運送事業者の営業用車両のみが対象となりました。</p> <p>予算77.59億円。</p>



#### 4. 交通安全対策

項目	内容	摘要
助成事業	①適性診断受診 一般2,633名 初任1,679名 ②運行管理者講習 ③運輸安全マネジメント講習 ④運転記録証明交付助成 ⑤交通安全行事(チャレンジ123)参加助成 ⑥EMS機器導入助成 ⑦ドライブレコーダー機器導入助成 ⑧安全装置等導入助成 (バックカメラ) ⑨可動式突入防止装置導入助成	適齢367名 カウンセリング34名 16,222千円 一般1,397名 基礎 495名 8,874千円 1名 5千円 14,639名 9,808千円 4,677名 (副賞含む) 7,018千円 633台 20,660千円 502台 8,883千円 457台 16,041千円 8台 270千円
啓発事業	①交通安全運動推進 チラシ配布 ②正しい運転明るい輸送運動 ③車両用フロントマスクの配布 ④交通安全幟の配布 (営業所×幟2枚) ⑤SafetyDrive大判ステッカー+カレンダー ⑥運輸安全マネジメントの取り組み啓発 ⑦年未年始の安全総点検 ⑧交通安全教室開催支援 ⑨新小学1年生への下敷き配布 ⑩テレビ、ラジオによるPR活動 ⑪蛍光反射タスキの贈呈(警察署) ⑫飲酒運転防止啓発	年4回 春/夏/秋/年末 各期の安全運動告知チラシ配布 安全運転と正しい積載 確かな荷締PR 交通安全 環境を守ろうノーポイ宣言 安全宣言200days取組ツール 新規事業者へマネジメントボードの配布 総点検表の配布・報告 桑員支部 17,000枚 三重テレビ、FM三重、イオンシネマ 交通安全 2,000本 R3.8.30三重県警と合同開催
教育研修 その他 行事	①中部トラック研修センター等の活用 ②トラックドライバーコンテスト(中止) ③街頭パトロール等の活動 ④事故防止セミナー ⑤安全宣言200days ⑥整備管理者研修 協力 ⑦初任運転者特別指導(初任ドライバー研修) ⑧運転者指導 管理者研修 3回講座 社内講師育成講座 3回中の1回目は令和2年度実施 ⑨特殊車両通行許可講習(オンライン申請) ⑩原価計算セミナー ⑪特殊車両通行許可質疑応答会	利用者 88名 支部活動協力 高速安協活動協力 53名(2回) 四日市 115社 3369名参加 選任前 185名 選任後582名 92名(4回) 津・四日市 2回目 24名 四日市、3回目 19名 津 13名 津 49名(2回) 津 1名 津

#### 5. 環境対策

項目	内容	摘要
助成事業	①近代化融資 (ポスト新長期車購入融資) ②低公害車導入助成 ③ポスト新長期規制適合車導入助成 ④アイドリングストップの為の機器助成 蓄熱マット、毛布4枚 ⑤省エネ走行研修助成 ⑥ISO14001、グリーン経営取得継続助成	45社 55台 6,509千円 ハイブリット車 5台 1,393千円 156台 12,480千円 蓄冷機、蓄熱・温水機49台 2,633千円 57名 480千円 近代化対策事業に記載

項目	内容	摘要
啓発事業	①アイドリングストップ、ノーポイ運動幟 ②アイドリングストップ宣言ステッカー ③クリーンアップ地域活動支援 ④テレビ・ラジオによるPR活動	交通安全幟と併用 環境にやさしいトラック輸送 取組ツール 南紀支部 三重テレビ、FM三重、イオンシネマ
教育研修 その他	①トラックの日 ②不正軽油使用防止活動 ③環境にやさしいトラック輸送 ④グリーン経営認証取得セミナー	6支部141名  52社 1455両 取り組み宣言 中部運輸局主催セミナーを周知

## 6. 近代化対策

助成事業	①近代化融資(一般融資) ②支部研修事業助成 ③運転資金等一部利子補給 ④信用保証料助成 ⑤上位免許取得促進助成 ⑥安全衛生法資格取得支援助成 ⑦ISO14001他(取得・継続)助成 ⑧グリーン経営(取得・継続)助成 ⑨働きやすい職場認証制度助成	8社 8件 2回 229件 34件 197件 204件 13社 26社 10社	1,003千円 310千円 14,178千円 9,404千円 13,316千円 1,070千円 632千円 792千円 200千円
情報提供 調査研究	①広報とらつく 月2回無料配布 ②定期発送による情報提供 ③交付金による各種助成事業の広報 ④事業報告書・事業実績報告書 ⑤燃料価格調査 ⑥WebKITの情報提供	全ト協より全会員へ直送 毎月1回 助成事業一覧広報配布 協会HP 報告書の提出指導と経営分析報告書 4ヶ月毎に報告 求荷求車情報ネットワーク	
教育研修 その他	①国交省・標準的な運賃届出の促進 ②新入社員研修 ③運行管理者試験対策講座 ④標準運賃を活用した原価セミナー(2日間) ⑤引越事業者優良認定制度説明会 ⑥引越基本講習 ⑦引越管理者講習 ⑧女性部会各種会議	会員相談と届出促進について対応 19名 津 8月試験分 54名 3月試験分 82名 基礎編 25名 津 活用編 24名 津 youtube配信 5名 津 10名 津 全体会議1回 ミーティング2回	

## 7. 労働対策

助成事業	①睡眠時無呼吸症候群(SAS)・突発性 運転不能障害疾患検査費用助成 ②健康診断受診助成	721名 7,361名	3,980千円 22,041千円
啓発事業	①労働保険収支改善運動 ②テレビ、ラジオによるPR活動 ③労働時間短縮に係る荷主啓発 ④標準運賃活用、荷主・会員啓発、 ⑤トラック輸送における取引環境・労働時間改善協議会	全ト協と共催 全国一斉 4/1~3/31 三重テレビ、FM三重、イオンシネマ 計画出荷・安全な輸送時間を確保・待機時間の削減 標準的な運賃、待機削減・積卸・附帯業務の料金	

項目	内容	摘要
教育研修 情報提供	①過労死等防止・健康起因事故防止セミナー ②働きやすい職場認証取得セミナー ③働き方改革への対応と労働時間管理セミナー ④運送事業賃金労働時間データ集 ⑤労務＋経営セミナー ⑥健康管理セミナー	24名 四日市 15名 津 18名 四日市 Web配信5回＋全ト協セミナー1回  10名 zoom聴講39名 津 27名 津

## 8. 金融・税制・規制緩和

情報提供 その他行事	①トラック税制の基礎知識 ②関係機関への陳情活動	全日本トラック協会ホームページで公開 県選出国會議員 政党県連 県議会会派
---------------	-----------------------------	--

## 9. 適正化事業

巡回指導 パトロール 活動	①事業所巡回指導 ②新規巡回・労働時間特別巡回(内数) ③適正化事業街頭パトロール	319社 新規8社 労働時間労基通報1社 不法駐車・所在不明事業者調査
啓発事業	①過積載防止荷主啓発チラシ ②テレビ、ラジオ、映画館によるPR活動	過積載防止対策連絡会議参画 三重テレビ、FM三重、イオンシネマ
教育研修 その他 行事等	①新規事業者指導 ②個別指導・相談 ③物流セミナー(会場＋Web) ④安全性優良事業所認定 説明会(Web) ⑤安全性優良事業所 Gマーク認定 ⑥事故防止セミナー(ドライバーの健康起因・過労死を防ぐアプローチ) ⑦初任運転者特別指導講習(ドライバー研修) ⑧運転者指導講習会(管理者研修) ⑨トラックドライバーコンテスト(中止) ⑩原価計算セミナー ⑪特殊車両通行許可質疑応答会	支局講習会(中止)＋通年都度実施 通年相談業務 都度実施 会場24名、Web42名 Web22名 申請受付(新規15、更新99) 53名 以下の項目は交通安全対策事業に併記 92名(4回) 津・四日市 43名(2回) 社内講師育成講座 津 新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止された 49名(2回) 津 1名

## 10. その他

事業者大会 イベント	全国トラック運送事業者大会への参加 トラックフェスタ2021 in MieMu(中止) みえ交通安全環境フェスタ(中止) 鈴鹿サーキット働くくるま大集合(中止)	新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止された // // //
トラックの日	トラックの日	6支部 9箇所 141名(道路清掃)
運行管理 者試験	① 第1回試験 8月 7日～9月 5日 ② 第2回試験 2月 19日～3月 20日	受験者数562名 合格者数161名 受験者数555名 合格者数188名
	運行管理者試験対策講座	津と四日市で開催

付属明細書については、該当事項がないため作成していない。

## 【公益目的支出計画実施報告書】

### 【R3年度(2021/4/1から2022/3/31まで)の概要】

1. 公益目的財産額	4,213,475,256円
2. 当該事業年度の公益目的収支差額 (1)+(2)-(3))	652,142,665円
(1)前事業年度末日の公益目的収支差額	586,807,264円
(2)当該事業年度の公益目的支出の額	463,483,949円
(3)当該事業年度の実施事業収入の額	398,148,548円
3. 当該事業年度末日の公益目的財産残額	3,561,332,591円
4. 2の欄に記載した額が計画に記載した見込み額と異なる場合、その概要及び理由 注	
<p>計画作成時の見込みに比べ、受取交付金が少なく、また、人件費受託収入につき人件費の繰入・繰出処理から費用科目での区分間振替表示に変更したこと及び指定正味財産から一般正味財産への振替による交付金収入振替額について移行時前の分を収入に計上しないこととしたため、実施事業収入の額が見込を下回った。事業費についても受取交付金の減少により減少したが公益目的収支差額が計画の見込額からは上回っている。しかしながら、公益目的支出計画の実施期間があと100年程と長期であることから今後の実施期間には影響がないと考える。</p>	

### 【公益目的支出計画の状況】

公益目的支出計画の	(1)計画上の完了見込み	2123年3月31日
完了予定事業年度の末日	(2)(1)より早まる見込みの場合	

	前事業年度		当該事業年度		翌事業年度
	計画	実績	計画	実績	計画
公益目的財産額	4,213,475,256円	4,213,475,256円	4,213,475,256円	4,213,475,256円	4,213,475,256円
公益目的収支差額	308,059,032円	586,807,264円	346,566,411円	652,142,665円	385,073,790円
公益目的支出の額	705,609,879円	492,663,851円	705,609,879円	463,483,949円	705,609,879円
実施事業収入の額	667,102,500円	434,276,555円	667,102,500円	398,148,548円	667,102,500円
公益目的財産残額	3,905,416,224円	3,626,667,992円	3,866,908,845円	3,561,332,591円	3,828,401,466円

# 公益目的支出計画実施報告書に関する監査報告書

一般社団法人 三重県トラック協会  
会長 小林 俊 二 殿

令和3年4月1日から令和4年3月31日までの公益目的支出計画実施報告書に関して、本監査報告を作成し、以下のとおり報告致します。

## 1. 監査の方法及びその内容

私は、理事及び使用人等と意思疎通を図り、情報の収集及び監査の環境の整備に努めるとともに理事会その他重要な会議に出席し、理事及び使用人等からその職務の執行状況について報告を受け、必要に応じて説明を求め、重要な決裁書類等を閲覧し、法人事業所において公益目的支出計画の実施の状況を調査いたしました。以上の方法に基づき、当該事業年度にかかる公益目的支出計画実施報告書について検討いたしました。

## 2. 監査の結果

公益目的支出計画実施報告書は、法令及び定款に従い、法人の公益目的支出計画の実施の状況を正しく示しているものと認めます。

令和 4年 4月22日

一般社団法人 三重県トラック協会

監 事

伊藤 孝



監 事

瀬古 一明

